

# 1 南檜山地域・職域連携推進連絡会について

## 設置目的

住民の健康づくりを推進するため、地域保健と職域保健が連携を図り、健康情報の共有や保健事業の共同実施、社会資源の相互活用、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の整備を図ることを目的に平成18年に設置。

## 南檜山圏域における重点的な取組について

「10年後、20年後を見据えた健康づくり」

～若い世代（小中学生～親世代）、働く世代（～40代）へのアプローチ～

小中学生～親世代  
へのアプローチ

働く世代（～40代）  
へのアプローチ

糖尿病対策の強化

# 目的・課題・目標（令和3～5年度）

## 目的

各町、医療機関、関係団体、保健所等の相互の連携体制強化（情報共有、検討、実施）により、若い世代（小・中学生～親世代）及び働く世代（～40代）に対する生活習慣改善（特に減塩）の重要性について普及啓発を進め、生活習慣病（糖尿病、高血圧）の発症予防・重症化予防を図る。

## 課題

### 【課題1】～健康課題～

- 糖尿病リスク因子であるHbA1cの健診有所見者率が全道より高い。
- 収縮期血圧の健診有所見者率が全道より高い。
- 腹囲、BMIの健診有所見者率が全道より高い。小・中学生においても肥満傾向がみられる。

### 【課題2】～連携体制～

- 若い世代（小・中学生～親世代）及び働く世代（～40代）の生活習慣病予防を図るため、各関係機関（町、医療機関、教育、職域、保健所）の連携強化（情報共有、検討、実施）が必要。
- 糖尿病（重症化）リスクがある者に対する支援において、更なる連携強化（南檜山糖尿病重症化予防プロジェクトの再周知、活用促進、指導のブラッシュアップ）が必要。

## 目標

### 【目標1】

- 職域団体、各町、医療機関、関係団体、保健所が連携を強化（情報共有、課題の明確化、取組の検討、実施）し、働く世代（～40代）に対する生活習慣病対策（糖尿病、高血圧（減塩））に向けた取組の推進を図る。

### 【目標2】

- 教育局、教育委員会、学校（養護教諭、栄養教諭）、各町、保健所が連携を強化（情報共有、課題の明確化、検討、実施）し、生活習慣改善（減塩）に向けた取組を一体的に推進することで、小・中学生～親世代に対する減塩の意識付け・行動変容へアプローチする。

### 【目標3】

- 糖尿病（重症化）リスク者を適切なタイミングで拾い上げ、必要な支援を実施することができる。
- 治療効果を高めるため、減塩指導を強化（対象者の食塩摂取状況の確認、指導媒体の作成等）する。

## 調査目的

南檜山圏域の地域・職域連携に関する課題や現状を把握し、今後、事業を推進する上での基礎資料とする。

## 調査内容

南檜山地域・職域連携推進連絡会に関するアンケート調査

## 調査時期

令和3年8～9月

## 調査対象

南檜山地域・職域連携推進連絡会構成団体

## 回収率

93.3% (14/15団体)

## ①構成団体の見直しについて

【設問 1】 今後、地域と職域の連携を推進していくため、当連絡会の構成団体の見直しが必要だと思いますか。

- |          |      |
|----------|------|
| 必要だと思う   | 5 団体 |
| 必要だと思わない | 8 団体 |
| わからない    | 1 団体 |

【設問 2】 今後、当連絡会の構成団体として、新たに加わってほしい団体名について記載してください。

「檜山広域行政組合消防本部」、「町内会」、「医療・福祉」、「教育」、「運輸・交通業」等の参画を求める意見もあった。

## ②生活習慣病対策（糖尿病、高血圧〈減塩〉）の取組状況の把握について

【設問 4】 貴団体において実施している住民・職員等に対する生活習慣病対策（特に糖尿病・高血圧〈減塩〉）について記載してください。

- |                          |                               |
|--------------------------|-------------------------------|
| ○地域                      | ○職域                           |
| ・ えさしレシピ普及推進運動（減塩）       | ・ 健康保険組合からの健康サポート・指導（生活習慣病全般） |
| ・ 家庭血圧の普及（高血圧）           |                               |
| ・ 診療情報提供事業（生活習慣病全般）      | ○関係機関                         |
| ・ 糖尿病性腎症重症化予防事業（糖尿病）     | ・ 函館市地域リハビリテーション活動（生活習慣病全般）   |
| ・ 健康マイレージ事業（生活習慣病全般）     | ・ 糖尿病教室（糖尿病）                  |
| ・ 健診結果説明会等での砂糖量の可視化（糖尿病） |                               |

### ③地域と職域の連携体制の課題の明確化について

【設問 7】 働く世代の健康づくりに関して課題と思われることについて記載してください。

- ・ 職域における健康課題の未把握
- ・ 働く世代への健康づくりに対するフォロー体制
- ・ 仕事を休める環境づくり
- ・ 健診実施の有無
- ・ 職員の健康づくりに対する意識
- ・ メンタルヘルスケア
- ・ 住民の健康意識の低さ
- ・ 塩分摂取量の過多

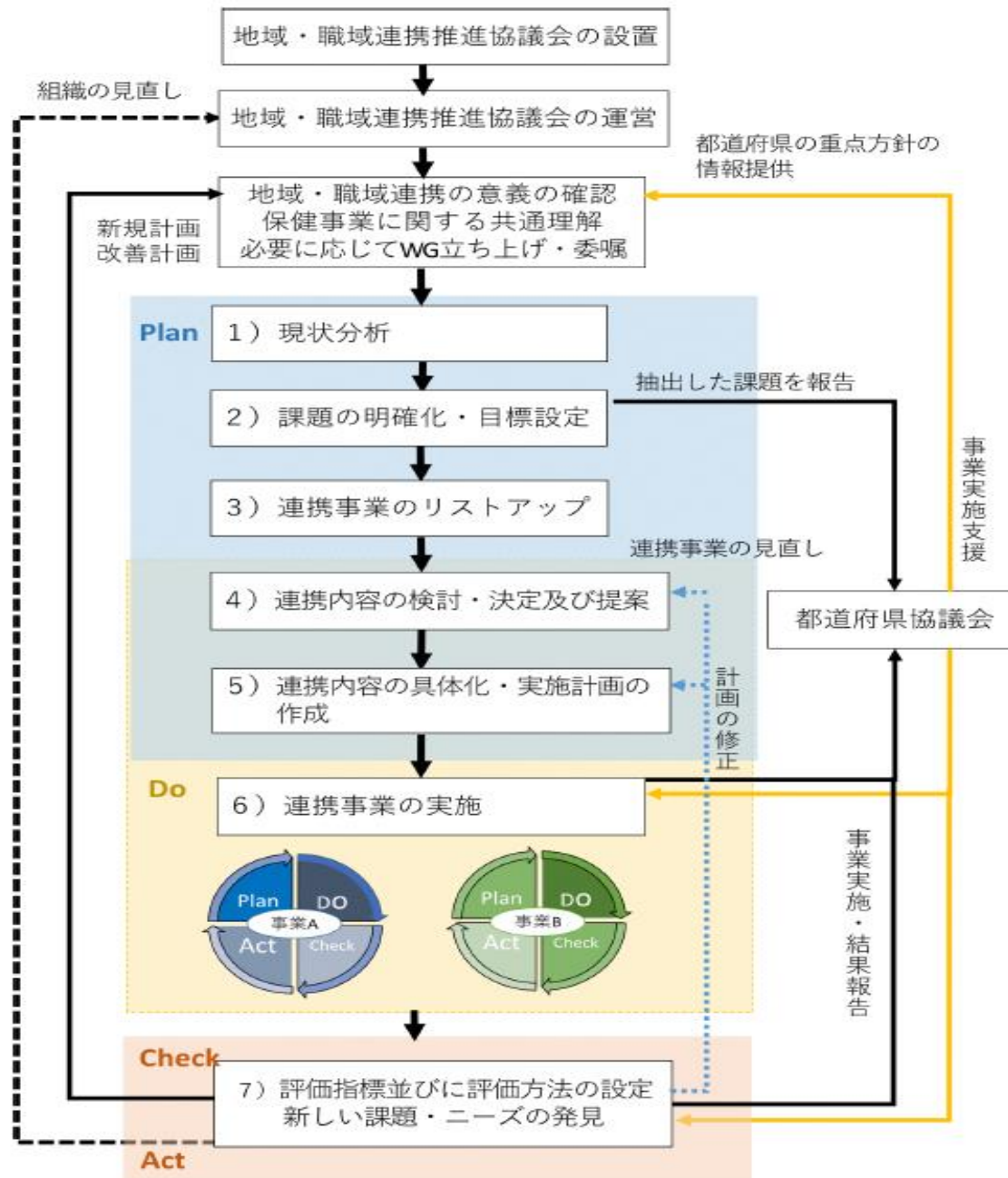
【設問 8】 今後、働く世代の健康づくりを推進していくために、「地域・職域で連携していきたいこと」又は「地域・職域連携のもと取り組みそうなこと」について記載してください。

- ・ 健診後の保健指導
- ・ 事業所への健康教育
- ・ 体操教室
- ・ 減塩教室等の資源を職域に周知
- ・ 職員に対する生活習慣病に関する情報提供
- ・ セミナーの実施
- ・ 健康保険組合からの指導
- ・ 多職種との連携
- ・ 地域・職域の枠を超えた健康づくり（健康教室、受診勧奨など）の実施

【設問 9】 今後、地域と職域の連携を推進していく上で、課題と感じていることについて記載してください。

- ・ コロナ禍により地域の状況を把握する機会の減少
- ・ 若い年代から自分の体について知ることが必要
- ・ そもそも職域との接点が少ない
- ・ お互いの健康課題について共有する場がない
- ・ 職員の扶養家族の健診
- ・ がん検診の受診方法が不明瞭なため、健診に関する分かりやすい資料があるとよい
- ・ 健診の機会を逃さないように健診の案内
- ・ 啓発、健康意識変化を直接住民に伝える必要がある

# 令和4年度「南檜山地域・職域連携推進連絡会」の取り組み



## 第1回南檜山地域・職域連携推進連絡会（R4.5.16）

### (1) 事務局から説明

- ・南檜山地域・職域連携推進連絡会について
- ・「南檜山地域・職域連携推進連絡会に関するアンケート調査」の結果について
- ・地域・職域連携推進事業の進め方について

### (2) 意見交換

- ・地域・職域における生活習慣病対策（糖尿病、高血圧〈減塩〉）の取組状況及び効果と課題について

- ・職域に対するアプローチは行っているが、健康保険の壁が大きく、国保加入者ばかりのアプローチとなってしまう。
- ・地域の健康課題として、高血圧、糖尿病があがっており、職域の健診受診率を向上させたいが、現状の連携状況では向上させていくのは難しいと感じている。
- ・職域側の健診状況について把握できず、介入することが難しい。
- ・高血圧やがんのため勤務中に体調を悪くしている職員が多くいると聞いている。
- ・健康診断だけを受ければ良いと考え、精密検査を受けない人がいる。
- ・檜山地域の健診結果から高血圧やBMIが高い方が多いと感じる。減塩対策を行うことが重要である。

## 第2回南檜山地域・職域連携推進連絡会（R4.9.14）

### (1) 事務局から説明

- ・ 第1回南檜山地域・職域連携推進連絡会の振り返り
- ・ 今年度実施する事業（案）について

### (2) グループワーク

- ・ 事務局から示した事業（案）について検討



#### 地域

- ・ 地域全体の健診受診率を上げたい
- ・ 職域側にもアプローチをしたい
- ・ 職域側の課題の未把握

#### 職域

- ・ 従業員は健康でいてもらいたい
- ・ 職員や事業主が健康意識を持つ
- ・ 健康診断、精密検査をしっかりと受ける

### 横のつながりの強化

働く世代の生活習慣病の発症予防・重症化予防を図る

まずは「やれること」から取り組む

南檜山地域の健(検)診情報や資源を案内するパンフレットを作成



## 第3回南檜山地域・職域連携推進連絡会（R5.3.6）

### **[南檜山地域で働く人の健康づくりに必要なことは？]**

そもそも健（検）診は何のために受けるのか、受けた後はどうするのか、理解をしていない人が多いのでは。理解を促すような勉強会等の開催も必要ではないか。

各事業所の集まり等を活用し、事業主の意識を高めるような働きかけもできる。そこから個人へ下ろして浸透させていく方法もある。

企業は監査もあり、ほとんどが健康診断を受けているため、個人事業主をターゲットにしてはどうか。例えば農協や漁協の集まりの場で働きかけていくのはどうか。

農協では部会を開いているが、細分化されている。また総会は総代が参加するため代表者のみの出席となる。本来の内容ではないことになる、部会中に時間をとるよりは、始まる前に短編動画を流す方が受け入れやすいと考える。

各事業所等の依頼に応じて、これまで健康教育を行ってきたが、ここ数年は依頼数も減少している。

各事業所等の健（検）診体制が把握できていないため、介入するタイミングが難しいと感じる。

業種により生活習慣が異なることで、健康課題も異なる。事業所ごとに動機付けが必要か。

まず業種を絞って各町で介入していき、成果を出して行く中で、少しずつ他の業種にも手を広げていく方法もありか。

コロナ禍を経て、動画視聴での研修が進んできている。例えば、各種保健事業やイベント等のスキマ時間を利用して、10～15分の動画を繰り返し流すのも効果的か。

動画づくりも有効期限があるため、2～3年を見据えた内容となる。各町で共通した健康課題別（高血圧、糖尿病等）にするのか、各町別にするか、業種別にするか。

函館市では、毎月1回各町内会で健康教室を開催、また年に1回市民健康教室を開催しており、参加者も多い。興味のあるテーマであれば、30分～1時間でも参集できるのでは。メンタルヘルス対策については、Dr.の人数も少なく、患者が多いため、各事業所までの対応ができていないのが実情。

各町や南檜山地域単位で講演会等を開催し、参加した事業主や住民のニーズをアンケート等で情報収集した上で、具体的な対策をとっていき、1つの方法ではないか。

一般の人へのアプローチと、企業へのアプローチは使い分けていかなければならないと考える。

連携事業については、令和5年～7年にかけて計画的に仕掛けていきたいと考えており、企業と各町が繋がって、例えば健康教育をするなど、少しずつ形にしていきたい。

## 第3回南檜山地域・職域連携推進連絡会（R5.3.6）

### **[令和5年度に実施できそうことは？]**

メンタルヘルス対策として、ストレスチェックをやっているが、1つの手段では網羅しきれない。他の手段について、この連絡会で一緒に検討していけないか。

メンタルヘルスの講演会はテーマを設けるのが難しく、来て欲しい人に来てもらえない。動画で短時間でも伝わりやすい媒体があれば良いと思う。健診時のアンケートによる情報収集も可能か。

一から始めるのではなく、既存事業などを活用した働きかけが良いと考える。

コロナで受診率が下がってきている。委託事業で受診勧奨など行っており、特定健診は保険者ごとに介入できているが、がん検診への働きかけが不十分。

動画の教材を購入しようとする、金額が高い。各町でシェアして活用する方法も良いか。

働く人は受診していても、家族の受診状況がわからない。また、事業所のがん検診の状況も見えづらい。地域と職域で情報共有しながら、役割分担して働きかけていけないか。

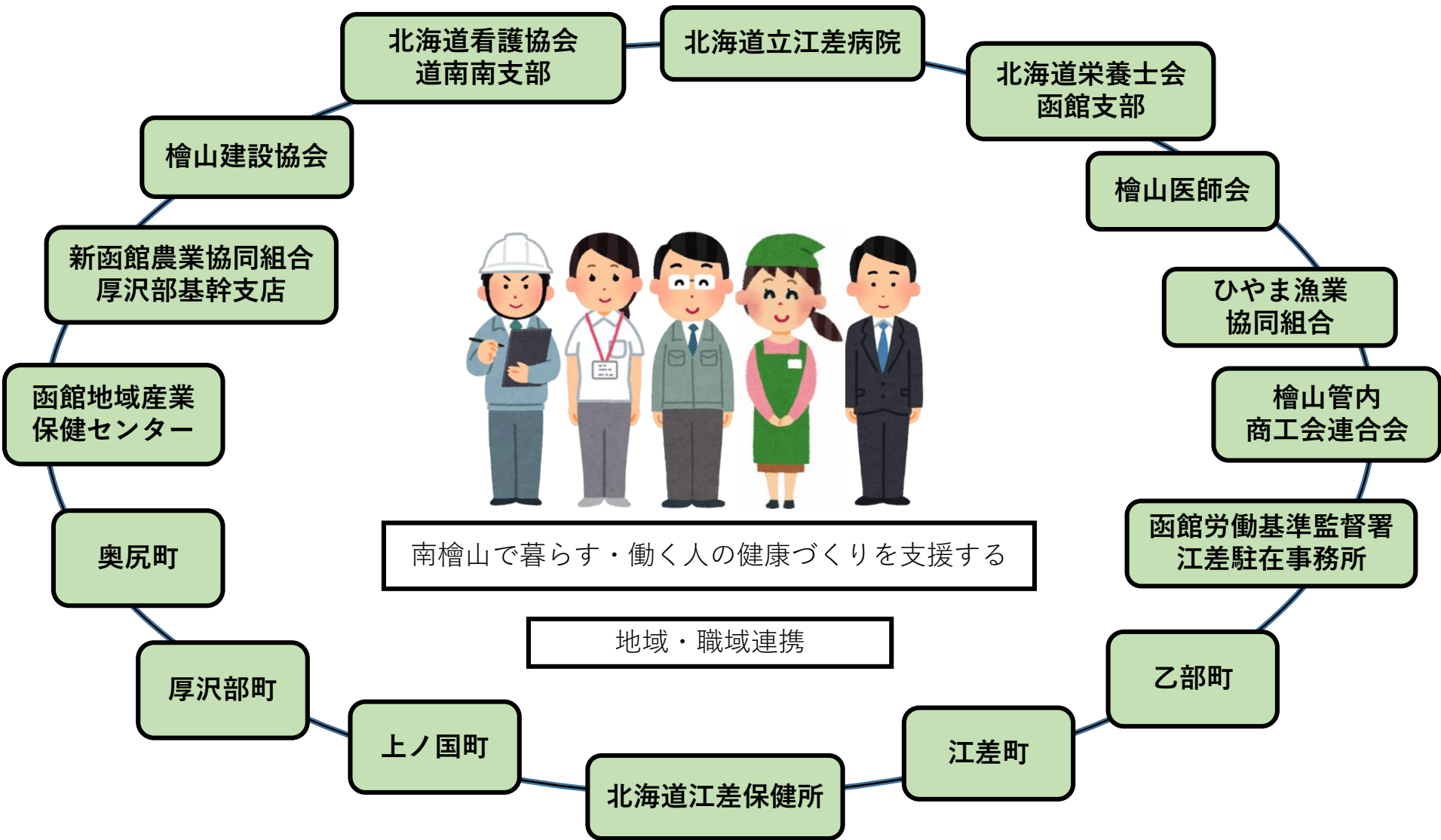
どうしても働いている人中心に見ざるを得ない。また、労働安全衛生法においては、がん検診が義務ではないため、アプローチが難しい。

事業所でがん検診を実施している所はほぼないのではないか。扶養者へのアプローチは確かに手薄なため検討の必要がある。

「健康チェック表」にメンタルヘルスの項目がある。相談を受けたい人は嘱託医に診てもらえる。必要な人が本当に受けているかどうかは不明。

メンタルヘルス対策は大切。ストレスはなくすることはできないため、どう付き合っていくか、対策方法を知る勉強会が必要か。

「病院にかからない健康づくり」として、高血圧、糖尿病予防にアプローチしてはどうか。YouTubeの活用はできるのか。だれでもアクセスできるような方法を検討できるとよい。



## 令和5年度の方向性（意見交換）

- 1 健診を受けていない層へのアプローチ（小規模事業者、被扶養者等）  
「南檜山地域で働く人とご家族のための健診ガイド」の活用状況や改善点の評価
- 2 圏域特有の健康課題対策（高血圧、糖尿病）  
健康教育（高血圧、減塩、メンタル…）の実績増に向けて
- 3 地域側と職域側の課題共有  
新たな職能団体の発掘？